



ヒューマンインタフェースシンポジウム 2012 2012年9月4日(火)～9月7日(金) 九州大学

九州から発信するデザイン戦略



昨年、シンポジウム開催地の仙台が震災に見舞われたにもかかわらず、「ポジティブ!」というスローガンの下で地元の先生方の大変な努力により、多くの参加者を集め大成功のうちに無事に開催できたことを心より敬服申し上げます。

今年は、一転して初めて九州の地で開催されることになりました。お迎えする我々一同大変光栄に思っております。

今回の開催会場は、九州大学大橋キャンパスで行いますが、ここは1968年に日本で初めて「芸術工学」という学問分野を創設して始まった九州芸術工科大学の発祥の地で、2003年10月に九州大学と統合となり今日に至っています。この旧大学の英名は、Kyushu Institute of Designですが、当初から design を標榜して「技術の人間化」を具現化するため高次のデザイナーを育成することを目標としています。このため、大学院の芸術工学専攻では、人間の生理、心理、行動、芸術的な感性等といった基礎的な学力を養成した上で、人間を取り巻くあらゆる分野でのデザインを提案し、その実現方法をプレゼンテーションして力を身につけるカリキュラムが設定されています。小池新二初代学長は、学生たちに「技術の進路をデザインする」ミッションを熱く語り、「ビジョンこそはアルファでありオメガである」とビジョンを描くことが最重要であると述べています。1972年に第1期の学部生が世に出て、はや40年を迎えますが、現在では、コンピュータ、ネットワーク、モバイル、ソーシャルネットなどのハイテクシステムが生活環境となり、それらの機能の高い品質、快適性、満足度が求められるようになりました。このため、2006年に大学院に新たにデザインストラテジー専攻を設置し、ビジネス、アーキテクト、エクスペリエンスをデザインの対象とした教育カリキュラムを組み立て、戦略的デザインも教育・研究としています。

以上のことから、このたび九州大学芸術工学研究院でシンポジウムを開催するに当たって、テーマとして「九州から発信するデザイン戦略」としました。講習会や特別講演には、インタラクションデザイン／インクルーシブデザイン／アプライドゲームデザイン／エンボディーデザインなどの4つのデザイン戦略に因んだ方面で予定を組むことを考えています。九州福岡は、中国、韓国に近く、食文化も多様です。また、九州国立博物館、福岡県美術館、福岡市美術館、アジア美術館など芸術にも関心の深いところです。多くの方々のシンポジウム参加により、研究発表での熱心なご討議、ポスター展示や作品展示などの応募をお待ちしております。

大会長 竹田 仰 (九州大学)

■主催：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■協賛学会

ウェアラブル環境情報ネット推進機構、映像情報メディア学会、応用物理学会、画像電子学会、教育システム情報学会、計測自動制御学会、国際複合医工学会、国際ユニヴァーサルデザイン協議会、システム制御情報学会、自動車技術会、情報処理学会、照明学会、人工知能学会、シンビオ社会研究会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本VR医学会、日本化学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本建築学会、日本色彩学会、日本手話学会、日本生活支援工学会、日本生体医工学会、日本ソフトウェア科学会、日本知能情報フェジ学会、日本デザイン学会、日本人間工学会、日本認知科学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本保全学会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション工学協会、日本ロボット学会、人間中心設計推進機構、バイオメカニズム学会、モバイル学会



■日程表

	5号館 1階 511	5号館 1階 512	5号館 2階 524	5号館 2階 525
4	13:30 ~ 17:00	講習会 1	講習会 2	講習会 3
	17:15 ~ 19:15	ワークショップ 1	ワークショップ 2	ワークショップ 3
5	9:30 ~ 11:30	行動計測	医療・福祉 1	ユーザビリティ 1
	13:00 ~ 15:00	対話発表 (会場: 多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール 2階 展示ホール ※ 12:20 ~ 13:00 自由閲覧)		
	15:20 ~ 17:00	レジリエンス	医療・福祉 2	ユーザビリティ 2
	9:30 ~ 11:25	感性・感覚・生理 1	医療・福祉 3	インタフェースデザイン 1
6	13:00 ~ 14:30	感性・感覚・生理 2	医療・福祉 4	インタフェースデザイン 2
	14:45 ~ 16:10	感性・感覚・生理 3	医療・福祉 5	電子書籍
	16:30 ~ 18:00	特別講演 (会場: 多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール)		
	19:00 ~ 21:00	イブニングセッション (石蔵酒造 博多百年蔵)		
	9:30 ~ 11:30	交通・運転者支援 1	VR・AR・3D	設計支援
7	13:00 ~ 14:45	交通・運転者支援 2	モバイル・ウェアラブル	ユーザ行動・ユーザモデル 1
	15:00 ~ 16:35	知覚・認知	医療・福祉 6	ユーザ行動・ユーザモデル 2





● 9月4日(火) 講習会

■講習会 (13:30 ~ 17:00)

- コース1 「インタラクションデザイン」
- コース2 「インクルーシブデザイン」
- コース3 「アプライドゲームデザイン」
- コース4 「エンボディードデザイン」

■コース1

インタラクションデザイン

「脳内リアル、メディアアート表現、身体接触などの課題」

(13:30 ~ 17:00 5号館1階511)

ポスト GUI のインタラクションデザインについて、現実世界を模して物理的に正しく写実的に表現することを超えて、必要のないものは隠して気に入ったところだけ誇張して表現をしたり、解釈を揺さぶるようなところを提示して、ユーザに都合の良い解釈を与えたり、不思議であったり、人間同士のスキンシップを取り入れて、心地よさや快適さを超えて、より豊かで楽しい、やる気やモチベーションにつながるような表現に注目したいと思います。



オーガナイザー：富松 潔 (九州大学)

リアリティベースドインタフェース、ナチュラルインタフェース、オーガニックインタフェースなどのキーワードに触れながら、新しいデザインのビジョンを描きます。

略 歴：1953年福岡県生まれ。九州芸術工科大学工業設計学科卒業、英国王立芸術大学院 (Royal College of Art) コンピュータリレイテッドデザインコース PEP 修了、三洋電機総合デザインセンター勤務英国駐在を経て、1994年九州芸術工科大学講師、現在は九州大学大学院芸術工学研究院教授、専門はインタラクションデザイン、博士 (芸術工学)。趣味はセーリング、日本セーリング連盟アンパイア。



ゲスト：藤木 淳 (国際メディア研究財団研究員/科学技術振興機構さきがけ)

デザインにおいて違和感排除されがちな要素ですが、一方で、人間だからこそ感じられる違和感を適切にデザインに組み込むことで、体験者の注意をひきつけ、印象深いものとなる可能性があります。本講義では、人間の知覚に基づく違和感に着目した、藤木のこれまでの研究作品を紹介します。本講義で、まずは聴講者自身がその違和感を感じ、そして、その思想が次のデザインへのヒントとなりましたら幸いです。

略 歴：1978年生まれ。博士 (芸術工学)。国際メディア研究財団研究員、科学技術振興機構さきがけ研究員を兼任。表現と原理の関係から、人間と物理の法則を探る、あるいは、それらの新たな関係性を築く研究をしている。アプローチとして、自らの仮説に基づく表現と原理の関係をアルゴリズム化し、体験者に提供する方法をとっている。また、それらは国内外の科学館や美術館で展示している。



ゲスト：馬場 哲晃 (首都大学東京)

現在研究室内で実践している研究事例を報告します。現実空間とデジタル情報をシームレスにつなぐことで、芸術、教育、デザイン、娯楽をより「豊か」に「楽しく」享受可能なインタラクションデザインを提案します。

略 歴：1979年長野県中野市生まれ。九州芸術工科大学、九州大学にて芸術工学を専攻後、博士 (芸術工学) を取得。現在は公立大学法人首都大学東京システムデザイン研究科インダストリアルアート学域助教。芸術、エンタテインメント、教育、デザインに関



してインタラクションを軸にした研究をしています。専門はインタラクティブアート及びインタラクションデザイン。情報処理学会、ACM 各会員。



ゲスト：江 振維（九州大学）

いままでの、新しいユーザエクスペリエンスに関する研究内容を本講義でシェアします。

略 歴：1979年台湾。台北市生まれ。情報科学とメディアデザインを専攻後、インタラクションデザイナーとして、台湾で活躍しています。ARS Electronica 2006 Honorary Mention 受賞。現在は九州大学 ITP センター学術研究員。新しいユーザエクスペリエンスを中心として、研究活動やアート表現などを行っています。

■コース 2

インクルーシブデザイン

「インクルーシブデザインによる五感ワークショップ」

(13:30 ~ 17:00 5号館 1階 512)

インクルーシブデザインは、英国発祥のユーザー起点のイノベーションをおこすユーザー参加型デザイン手法です。その手法を用い様々な人の立場から社会的な視点でデザインの課題や魅力を考えていきます。多様な感覚の参加者が多く、デザインも視覚的表現だけではなく、他の感覚を使った表現も行われます。今回は音に注目し、いっしょに五感のデザインを考えたいと思います。



オーガナイザー：平井 康之（九州大学）

略 歴：英国王立芸術大学院（ロイヤル・カレッジ・オブ・アート）卒業。コクヨ（株）の設計、開発、商品戦略部門でインテリア／プロダクトデザイナーを経て1997年渡米、アメリカのデザインコンサルテーション会社アイデオにてデザインコンサルタントとして活動。2000年に九州芸術工科大学（現九州大学）助教授、2003年より九州大学大学院芸術工学研究院准教授、現在に至る。



ゲスト：広瀬 浩二郎（国立民族学博物館）

略 歴：1967年、東京都生まれ。13歳の時に失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年、同大学院にて文学博士号取得。2001年より国立民族学博物館に勤務。専門は日本宗教史、障害者文化論。『だれもが楽しめるユニバーサル・ミュージアムー“つくる”と“ひらく”の現場から』（読書工房、2007年）、『さわる文化への招待ー触覚でみる手学問のすすめ』（世界思想社、2009年）など著書多数。

■コース 3

アプライドゲームデザイン

「マニュアルがなくても使い始めることができ、自ら学習・訓練するモチベーションの与え方に注目する方策を探ります」

(13:30 ~ 17:00 5号館 2階 524)

昨今、ゲーム（主にビデオゲーム）が持つ解りやすいインタフェースや、積極性や継続性を高めるデザインを他の分野に応用しようという動向が、国内外で活発になっています。具体的なキーワードとして、シリアスゲーム、ゲームフィクション、ゲームニクスがこれにあたります。本セッションでは、医療、教育、観光といった従来ゲームとは関わりが薄い分野におけるデジタルコンテンツへのゲームデザインの応用について、具体例をあげながら話し、今後の展開や可能性について議論していきたいと思えます。



オーガナイザー：松隈 浩之（九州大学）

平成 22 年から 23 年にかけて、リハビリ中のつらく厳しい訓練をゲームのチカラで楽しくしようというコンセプトで「樹立の森 リハビリウム」というゲームを制作しました。主に高齢者（70 代～90 代）を対象としており、デイケアセンター等の福祉施設でゲーム＝リハビリを楽しみながら、健康そして豊かな生活を維持することを目的としております。リハビリを必要とする高齢者に適したインタフェースデザインやハードウェア等のシステム構成、また病院、介護施設へとゲームを導入する際の課題や解決方法などについて、2 年間にわたる現場とのやりとりや、利用者による検証実験の結果などを踏まえ、発表いたします。

略 歴：1994 年九州芸術工科大学画像設計学科卒業。1996 年同大学院情報伝達専攻修了。1997 年凸版印刷株式会社入社、グラフィックアートラボラトリー（GALA）勤務。2003 年九州芸術工科大学に講師として着任し、九州大学と統合後、現在、九州大学大学院芸術工学研究院講師。福岡市における産官学シリアスゲームプロジェクト代表。



ゲスト：藤岡 定（九州大学）

優れたインタフェースとはどういう物なのか、良い物の使われ方とはどういうことなのか。評価軸は果たして「使いやすい」「便利」だけで良いのだろうか。講演者の携わったデジタル／アナログの作品や、講演者の好むアート／デザイン作品、講演者が日常で感じたインタフェースに対する違和感等の例を通して、「楽しさ」を軸にしたゲームフルなインタフェースのあり方についての考察を紹介する。

略 歴：芸術工学博士。2004 年九州大学電気情報工学科卒業。2010 年同大学院芸術工学府博士課程修了。文字、言葉を用いた音楽演奏ソフトウェアについての研究を行う。同年より九州大学大学院芸術工学研究院にて学術研究員として勤務。リハビリ用途のシリアスゲームの企画・設計・開発を行う。ADADA 会員。



ゲスト：中村 直人（九州大学）

近年、携帯端末など様々なデバイスが普及し、ユーザがコンテンツにふれる機会は増大している。それに伴い、教育分野で利用されるコンテンツの総数も膨大になっており、より効果的で利用価値のあるコンテンツが求められている。本講演では、教育用コンテンツの構成やインタフェースデザイン、さらにはビジネスモデルについて、実際の例や講演者が携わったコンテンツから得た知見を紹介する。

略 歴：情報科学博士。2005 年九州大学理学部物理学科卒業。2010 年同大学院システム情報科学府博士課程修了。マルチメディアデータ検索技術の研究を行う。日本学術振興会の特別研究員を経て 2011 年より同大学院芸術工学研究院に学術研究員として勤務。シリアスゲームの研究開発を行う。情報処理学会会員。



ゲスト：サイトウ アキヒロ（立命館大学）

ゲームにおいて、ユーザーは常に自ら目標を持って遊んでいるように見えるが、実はすべてゲーム側で設定され提示されている。その内容は直近目標、中間目標、最終目標に分けられ、それぞれを巧みに操作することで、いかにも自発的に目標を立てているかのように思わせているにすぎない。またその目標に向かって長時間にわたって集中させるためのモチベーションを、どのように維持させていくのかといったノウハウも合わせて解明し、誰でも簡単に始められて、難しい事でも楽しみながら習得させていく方法論を解説する。

略 歴：立命館大学映像学部教授。ファミコン初期のころから任天堂を中心にゲームクリエイターとしての活動も開始する。近年は日本の優秀なゲームインタフェースを「ゲームニクス」と命名し理論化。この「人を夢中にさせるノウハウ」の他分野での活用を提唱し、実践している。国内外の講演も多数。著書：「ニンテンドー DS が売れる理由ーゲームニクスでインターフェースが変わる」（秀和システム）「ゲームニクスとは何かー日本発、世界基準のものづくり法則」（幻冬舎）他。



■コース 4

エンボディードデザイン

「ウェアラブル、ソーシャルコンピューティング、フィジカルコンピューティングなどコンピュータの新しい形を探ります」

(13:30 ~ 17:00 5号館2階525)

講習会では、なるべく実際のデモや体験重視で各講師の講習内容をつめていきたいと考えております。HI学会のテーマにある「九州が発信するデザイン戦略」に沿うように、各講師陣に九州のエッセンスを入れてもらうよう交渉致します。



オーガナイザー：上岡 玲子（九州大学）

やわらかいコンピュータの実践

高機能の布を用いたやわらかいコンピュータについて紹介し、フィジカルコンピュータのインタフェースの現状を示すことで、新しいインタフェースデザインのあり方を紹介します。

略 歴：2012年4月より九州大学大学院芸術工学研究院コンテンツ・クリエイティブデザイン部門准教授に就任。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了後、NTTヒューマンインタフェース研究所、米国衛星通信会社PanAmSatを経て、2003年東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻にて学位取得。（博士（工学））領域型展示のためのウェアラブルコンピュータや主観的体験記録のためのウェアラブルコンピュータの研究、衣服の高機能化を目指したエレクトロニクスとテキスタイルを融合させたe-テキスタイルの研究を実践的に行う。



ゲスト：串山 久美子（首都大学東京）

身体感覚に即した触覚提示技術の新しい表現

視覚情報に触覚的な感覚を様々な方法で取り入れることで、これまで体験したことのない、エンターテイメント性の高い触覚提示技術を紹介します。

略 歴：首都大学東京システムデザイン研究科インタラクティブアート学域教授。専門分野は、メディアアート、インタラクティブアート、バーチャルリアリティ、触覚研究。1980年より人と空間の関係をテーマに、映像と音と温度、触覚を融合させたメディアアートや視触覚ディスプレイの技術の開発を行っている。表現のみならず、デジタルサイネージや障がい者支援など日常の情報活動をも支援する触覚コミュニケーションの可能性を提案している。作品や研究は、SIGGRAPH ArtGalleryやArs electronicaや日本での科学館のコレクションとして発表されている。



ゲスト：武山 政直（慶應義塾大学）

価値創造型のソーシャルコンピューティングのデザイン

ソーシャルネットなどのネットワークのつながり情報を新しい方法で活用することで、我々が生活するリアルな社会の価値や新しいライフスタイルなどを提案するためのネットワークデザインについて紹介します。

略 歴：慶應義塾大学経済学部教授。専門の都市メディア論、消費者行動分析の研究を背景に、ICTを活用したサービスのデザイン、企業と顧客の価値共創プラットフォームの構築、ゲームやストーリーテリングの手法を用いた参加型プロモーション手法の開発に実践的に取り組んでいる。特に近年はTwitterを活用したクラウドソース型未来構想や、ARG（代替現実ゲーム）を用いた自動車の参加型プロモーションを産学共同で推進。



■ワークショップ 1 (17:15～19:15 5号館1階511)

「バックグラウンドの異なる人同士の

コミュニケーション支援」

企画：コミュニケーション支援専門研究委員会 (SIGCE)

利益が相反する要求を持つ相手や全く異なる論理構造を持つ相手に対してどのように向き合っていくべきか、コミュニケーションにおける解決すべき課題を見極めるべく、議論する予定です。性急に共通理解を得ようとするよりも、理解出来ないことに対する不安を認め合うこと、相互のコンテキストを理解することの重要性など、人と人とのより本質的なコミュニケーションの課題について検討します。

本ワークショップでは、バックグラウンドに様々な論理的、感覚的なギャップを持つ人々、例えば

- 一 開発者とユーザ
- 一 異なる学問分野 (アートと工学、医学と工学など)
- 一 企業研究者と大学研究者

等について、そのコミュニケーションの困難さや課題、様々なギャップを埋める、もしくはギャップを活かすコラボレーションや、そのきっかけを生む自己目的的なコミュニケーション支援方法などについて話題提供を頂き、議論する予定です。

司 会：葛岡 英明 (筑波大学)
話題提供者：矢野 博明 (筑波大学)
松尾 太加志 (北九州市立大学)
中谷 桃子 (NTT)

■ワークショップ 2 (17:15～19:15 5号館1階512)

「20年先のラーメンを食べに行こう！

ー研究者が思い描く未来を交叉させるー」

企画：ヒューマンインタフェース学会若手研究者によるメーリングリスト (HIST)

学会は日々切磋琢磨している研究者たちが集まり、発表することで自身の専門と近い研究や他分野の研究から刺激を受けるための交流の場です。私たち HIST (HI 学会若手の会) は、この交流をもう一步前進させ、研究者が思い描く未来を交叉させる企画を提供します。研究に取り組む前であれ、後であれ、すべての研究者は自らの研究が進んだ先の未来を思い描くはずで、また、その未来は分野や個人によって大なり小なり異なります。その未来を「20年先」で交叉させることでインタラクションを得ることは、今後の研究の糧になるはずで、また、特にこの企画では「ラーメン」をその主軸にします。人間生活の基本である「食」の未来に対して、HI 研究の多くが影響を及ぼす可能性があるにも関わらず、近年の HI 学会では未来の「食」についてあまり総合的に俯瞰して来ませんでした。そして「食」のなかでもラーメンは、家庭でも外食でも広く食されている身近なグルメの代表格であり、現在でもさまざまな創意工夫によって日々進化を続けている分野といえます。そのようなラーメンを軸として議論し、未来を交叉させることで、研究者として大いに刺激を受けることができると思います。何か、新しいことに気づかされるワークショップとするためにも、「食の未来」に興味のある方に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしております。プレゼンターなど、追加情報は HIST 公式サイトにてお知らせする予定です。

司 会：北村 尊義 (京都大学)
関連情報：(HIST のこれまでの活動はこちら)
HIST 公式サイト <http://sig.his.gr.jp/hist/>



■ワークショップ3 (17:15～19:15 5号館2階524)

「アジア太平洋地域における HCI 分野の

新しい学会設立の動き」

現在、アジア太平洋地区で Human-Computer Interaction (HCI) 分野の新しい学会を作ろうという動きがあります。この地域の格差やさまざまなユニークな特徴を理解した上で、相互理解と協力を通して、教育や研究レベルの活性化と底上げ、さらにこの地域らしい新産業創出の流れを作り出すことによって、人々の生の質 (QOL) を向上させたいというのがその基本的な理念です。2011年3月以来、各国の代表者と会合を重ね、少しずつ構想を具体化してきました。また、より多くの方々のご意見を聞くために、2012年5月に米国 Austin で開催された ACM SIGCHI の中で Town hall Meeting も行いました。その内容を踏まえ、これまでの経緯や現状、そして今後の予定等について報告し、情報共有させて頂くとともに、よりよい学会とするための意見を皆さんと交換をしたいと思います。

話題提供：北村 喜文 (東北大学)

他 (調整中)

■ワークショップ4 (17:15～19:15 5号館2階525)

「災害看護とヒューマンインタフェース (2)」

企画：ヒューマンインタフェース学会・看護用具・用品開発に関わる
専門研究委員会 (SIG-HC)

災害下での看護の課題を明確にし、ケア力を高めるために必要とされる用具・用品やそのヒューマンインタフェースの向上策について議論することを目的として、昨年度、SIGHC 主催の WS を開催した。3年計画の初年度と位置づけた昨年度は、被災におけるニーズの概要について議論した。その結果、災害や被災に関する情報活用のあり方として、知る、把握する、共有する、支援する、支援を続ける、といった点が話し合われた。また、支援のツールとして、気づかいを支援するツール、関わりのきっかけになるツール、人とのつながりを支援するツール、こころのよりどころを支えるツールの必要性について議論がなされた。3年計画の2年目である今年度は、避難所の現状や支援状況、今後の課題等について、東日本大震災発災直後から、日本看護協会の災害対策本部と連携して支援活動に携わった師長に話題提供いただく。これらを通して、被災における健康に関する具体的なツール案とそのインタフェースについて議論することを目的とする。

話題提供者：坪上 茂子 (心臓血管センター金沢循環器病院)

オーガナイザ：西山 里利 (目白大学/慶應義塾大学)

又吉 慧 (恩賜財団済生会横浜市東部病院)

西山 敏樹 (慶應義塾大学)

● 9月5日 (水)

■一般発表 (42件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■対話発表 (71件)

(13:00～15:00 多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール 2階 展示ホール)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。



● 9月6日 (木)

■特別講演 (16:30 ~ 18:00 多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール)

「江口カン式コミュニケーションデザイン

～人は、何に喰いつくのか～

江口 カン (映像ディレクター / KOO-KI 代表)



地上波テレビ、BS、CS、ケーブルTV、Web、携帯、スマートフォン…。映像を視聴できる媒体が日々増殖し、それに伴いコンテンツの「量だけ」は膨大になっている現代。

そんな広大なコンテンツの大海原から「これが見たい!」と人々を喰いつかせ、選択させるにはどのような演出が有効なのか。話題にのぼらせ、チャンネルを変えさせ、Webサイトを見に行かせ、商品を買わせるには?

演出とは、視聴者があるウソの中に引き込むための手法です。それは騙しの手法でもあります。

どうせ騙すなら気持ちよく騙してあげたい。

そのためにはどんな世界観を作り、どんなストーリーがどんな風に展開し、どんな衝撃的なクライマックスがあるべきか…

そしてそのウソを体験した視聴者は、最終的には「ある本質」に気付く…

「つかみ」「ストーリー」「読後感」といったキーワードを軸に、カンヌ受賞ディレクターが日々悩み考え具現化に至る過程を通して、「どのようなコミュニケーションのシナリオを描けば人々は喰いつくのか」を、全部は無理なので少～だけお見せします。

■一般発表 (60件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■イブニングセッション (19:00 ~ 21:00 石蔵酒造 博多百年蔵)

● 9月7日 (金)

■一般発表 (58件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

4日 講習会

5号館 1階 511	5号館 1階 512
講習会 1 「インタラクションデザイン」 13:30 ~ 17:00	講習会 2 「インクルーシブデザイン」 13:30 ~ 17:00
ワークショップ 1 17:15 ~ 19:15	ワークショップ 2 17:15 ~ 19:15

5日 (午前) 一般発表

5号館 1階 511	5号館 1階 512
111 行動計測 大久保 雅史 (同志社大学) 9:30 ~ 11:30	121 医療・福祉 1 和田 親宗 (九州工業大学) 9:30 ~ 11:30
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1111L (9:30 ~ 9:55) 小型電子端末を用いた読書時の眼球運動と頭部運動の解析 新川 達矢 (東海大学), 山田 和平 (東洋熱工業), 山田 光穂 (東海大学) ・ 1112L (9:55 ~ 10:20) 口唇動作による駅名認識の有効性の検討 大城 政人, 新川 達矢 (東海大学), 笠原 篤之 (アイ・ディ・ケイ) 尾上 拓 (リアルビス), 山田 光穂 (東海大学) ・ 1113L (10:20 ~ 10:45) 三軸加速度センサを用いた車いすバスケットボール選手の動作分析 高橋 雄介, 浅井 信尊, 岩澤 有祐, 福嶋 裕介, 矢入 郁子 (上智大学) ・ 1114S (10:45 ~ 11:00) 筋電図計測によるスマートフォンでの文字入力のしやすさの検討 廣川 敬康, 塩谷 哲司, 渋谷 唯司, 速水 尚, 澤井 徹, 大政 光史 (近畿大学) ・ 1115S (11:00 ~ 11:15) 社交ダンス指導における教示者と学習者の注視行動の考察 木村 浩将, 黄 宏軒, 川越 恭二 (立命館大学) ・ 1116S (11:15 ~ 11:30) ユーザの作業履歴に基づく農作業現場での知識継承の試み 磯江 陽生, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1211L (9:30 ~ 9:55) NVSG 形態を用いた医療用手話単語の形態素構造の分析 渡辺 桂子, 長嶋 祐二 (工学院大学), 金子 浩之, 加藤 直人, 宮崎 太郎 梅田 修一, 井上 誠喜, 清水 俊宏, 比留間 伸行 (NHK 放送技術研究所) ・ 1212S (9:55 ~ 10:10) 障害のある人が作業パフォーマンスを自己モニタリングするための日常的な作業ログの可視化 武長 龍樹, 近藤 武夫, 巖淵 守, 中邑 賢龍 (東京大学) ・ 1213S (10:10 ~ 10:25) 障害のある子どもと大学をつなぐインタフェース - 入試を支援する技術の開発 - 巖淵 守, 近藤 武夫, 武長 龍樹, 中邑 賢龍 (東京大学) ・ 1214L (10:25 ~ 10:50) アスペルガー障がいを持つ児童の注意切り替え特性 門田 直樹, 高丸 公斗, 井上 博幸, 松山 祐希, 縄手 雅彦 (島根大学) ・ 1215L (10:50 ~ 11:15) 遠隔地在住の発達障がい児に対する学習支援における Dropbox の活用 井上 博幸, 友永 啓太, 縄手 雅彦 (島根大学) ・ 1216S (11:15 ~ 11:30) 色カテゴリーを変えないバリアフリー色修正技術 - 視覚媒体の共用を目指して - 坂本 隆 (産業技術総合研究所) 唐須 俊樹, 堀田 志郎 (マックスシステムズ)
昼休み	
11:30 ~ 13:00	

対話発表 (多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール 2階 展示ホール) ※ 12:20 ~ 自由開覧開始

13:00 ~ 15:00

5号館 2階 524	5号館 2階 525
講習会 3 「アプライドゲームデザイン」 13:30 ~ 17:00	講習会 4 「エンボディードデザイン」 13:30 ~ 17:00
ワークショップ 3 17:15 ~ 19:15	ワークショップ 4 17:15 ~ 19:15

5号館 2階 524	5号館 2階 525
131 ユーザビリティ 1 9:30 ~ 11:05 伊藤 潤 (ソニー)	141 ヒューマンロボットインタラクション 9:30 ~ 11:25 小野 哲雄 (北海道大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1311S (9:30 ~ 9:45) ユーザーエクスペリエンスデザインのためのストーリーテリングの活用 の提案 山崎 和彦 (千葉工業大学) ・ 1312L (9:45 ~ 10:10) ウェブアクセシビリティ簡易評価のための基礎的検討 渡辺 昌洋, 森田 敬樹, 浅野 陽子 (NTT) ・ 1313L (10:10 ~ 10:35) 人工物デザインの三軸 - 意味、品質、感性 黒須 正明 (放送大学) ・ 1314L キャンセル ・ 1315S (10:35 ~ 10:50) サービスイノベーションデザインをワークショップで学ぶ 浅野 智 (横浜デジタルアーツ専門学校) ・ 1316S (10:50 ~ 11:05) ユーザビリティ定量化手法の開発現場適用に向けて 池上 輝哉, 谷川 由紀子, 福住 伸一 (NEC) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1411L (9:30 ~ 9:55) Talking-Ally: 聞き手と一緒に発話を組織する発話生成システムについて 小田原 雄紀, 蔵田 洋平, 大島 直樹, デシルバ ラビンドラ, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) ・ 1412L (9:55 ~ 10:20) COLUMN: 個人間での協調を引き出す「もどかしさ」について 竹田 泰隆, 吉田 広平, P. Ravindra De Silva, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) ・ 1413L (10:20 ~ 10:45) ロボット走行における不明確性の解消 - 主観評価値に基づく齟齬の許容性の分析 - 山縣 京輔, 米村 俊一, 徳永 幸生 (芝浦工業大学) 杉山 精 (東京工芸大学) ・ 1414L (10:45 ~ 11:10) エージェントインタラクションの効率調整方法 高田 恵美, 田野 俊一, 市野 順子, 橋山 智訓 (電気通信大学) ・ 1415S (11:10 ~ 11:25) 物-ロボット間の心の乗り移りに対する認知の評価 長濱 峻介, 山崎 由美子 (早稲田大学), 金 天海 (HRI-JP/ 早稲田大学) 菅野 重樹 (早稲田大学)
昼休み	
11:30 ~ 13:00	

対話発表 (多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール 2階 展示ホール) ※ 12:20 ~ 自由開覧開始	13:00 ~ 15:00
-------------------------------------------------------------	---------------

5日 対話発表・デモ

多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール		2階 展示ホール		13:00 ~ 15:00	※ 12:20 ~ 自由閲覧開始
1501D	3D エンターテインメントコンテンツを用いた高齢者コミュニケーションツールのデザイン 具 ミンヨン, 楠 房子 (多摩美術大学) 岡田 修一, 稲垣 成哲 (神戸大学)	1520D	携帯情報端末を用いた聴覚障害者向け X 線検査支援システムの有用性について 宮田 充 (九州厚生年金病院 / 九州工業大学) 和田 親宗 (九州工業大学) 飯沼 正博 (アイ・ティー・エス・ジャパン)		
1502D	3D 天気予報の画像生成システムの開発とその評価 白鳥 雄太 (東海大学), 砂岡 諒 (丸文) 若松 英輝, 新川 達矢, 大城 政人, 山田 光穂 (東海大学)	1521D	文字認識エンジンを用いた手書きワープロの開発と評価 佐保田 遼, 中川 正樹 (東京農工大学)		
1503D	口唇動作による母音認識のための口唇特徴点自動抽出装置の開発 若松 英輝, 菊池 慧, 新川 達矢, 大城 政人 (東海大学) 尾上 拓 (リアルビズ), 山田 光穂 (東海大学)	1522D	ユーザのテンポ感を頼りに動作テンポを調整するスティック型メトロノーム 本吉 達郎, 渡辺 涼太, 小柳 健一, 大島 徹 (富山県立大学) 川上 浩司 (京都大学)		
1504D	ファッションコーディネート支援システム Talkin'Closet におけるパーソナライゼーション 福田 未央, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)	1523D	空中手書き文字入力におけるインプットメソッドの検討 西田 好宏, 入江 臣知, 吉田 大志 (福井工業大学)		
1505D	写真の印象を元にした旅行地連想検索システムの構築 金澤 裕也, 天笠 邦一 (慶應義塾大学) 日高 洋祐 (JR 東日本研究開発センター) 小川 克彦 (慶應義塾大学)	1524D	ユーザの操作による変形を伴う 3D 鉛筆モデルを用いたペイントシステム 山下 紗季, 吉川 毅, 野中 秀俊 (北海道大学)		
1506D	遠隔で居を共にする障子コミュニケーションメディア iJOHS 伊東 究, 竹内 勇剛 (静岡大学)	1525D	仮想 3次元空間における知恵の輪の操作システム 藤澤 怜央, 吉川 毅, 野中 秀俊 (北海道大学)		
1507D	インターホン玄関子機へのディスプレイ搭載の試み - ディスプレイサイズ拡大の効果 - 川澄 未来子, 阿部 健, 竹谷 勇人, 杉野 祐太 (名城大学) 高幡 幸太郎, 阿部 智仁, 安達 勝一, 花井 雅敏 中島 菜月, 王 小晗 (アイホン)	1526D	Peepho: 子どもたちのオリジナルな表情を生み出すロボットのようなカメラについて 田中 大希, P. Ravindra S. De Silva, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)		
1508D	NIRS を用いた脳機能遠隔診断システムの開発 柳沢 一機, 若井 翔平, 綱島 均, 竹村 尚大, 酒谷 薫 (日本大学)	1527D	COLUMN: 個人間協調を引きだすソーシャルメディアエータ 吉田 広平, 竹田 泰隆, P. Ravindra De Silva, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)		
1509D	半球状マルチタッチインタフェースと入力手法の提案 東 達也, 吉川 毅, 野中 秀俊 (北海道大学)	1528D	Sociable Trash Box: 「内なる視点」からの参与観察について 澤田 翔平, 森 達哉, P. Ravindra De Silva, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)		
1510D	カードで作る参加型サウンドシステム “オトノリ+” の提案 岡田 祥佳, 小川 克彦 (慶應義塾大学)	1529D	ストーリーボードをベースにした画面仕様の研究 大草 真弓 (成安造形大学 / オーバルプラン)		
1511D	歩きながら街のつぶやきを聴くシステム “WalkON” の提案 岡本 浩実, 小川 克彦 (慶應義塾大学)	1530D	表示コンテンツ属性と端末間関係付与による端末連携システムの試作 中島 健次, 宇山 政志, 川勝 良章, 藤野 信次 (富士通研究所)		
1512D	発達障害者の姿勢保持練習ゲームの改良 森川 治, 佐藤 滋 (産業技術総合研究所) 太田 容次 (滋賀県立三雲養護学校) 坂田 陽子, 二宮 昭 (愛知淑徳大学)	1531D	モーションシミュレータのユーザビリティ向上に関する検討 鳥川 はる奈, 阪口 泰規, 森 健一郎, 仲島 晶 (オムロン)		
1513D	頸髄損傷者向けパソコン入力代替装置の開発 - マウスカーソルの制御手法の提案 - 熊谷 尚徳, 高尾 秀伸 (神奈川工科大学)	1532D	グループインタラクション支援のための日常生活に溶け込むライブログロボットの開発 松本 拓也, 田村 亮太, 山本 倫也 (関西学院大学) 渡辺 富夫 (岡山県立大学)		
1514D	知人が作成した似顔絵の合成によるアバタ生成手法の提案 信田 悟至, 大久保 雅史 (同志社大学)	1533D	単発音を利用したハンドジェスチャインタラクションの提案と評価 齋藤 央, 赤池 英夫, 角田 博保 (電気通信大学)		
1515D	障がい者が市販テレビゲーム機を活用するための 2つの入力補助装置 井手 将文 (佐賀大学)	1534D	キャンセル		
1516D	電子書籍の大域的把握を目的としたページナビゲーション手法 杉山 正幸, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学)	1535D	触星図自動作成システムの開発 (2) - 可触化星野決定機能の実装 - 田口 寛樹, 山口 俊光, 渡辺 哲也 (新潟大学)		
1517D	携帯端末による発想学習システムの提案 藤井 拓大, 大久保 雅史 (同志社大学)	1536D	ALS 失声者の音声講演のためのインタフェース検討報告 岩木 健 (ウォンツ), 佐々木 公一 (わの会) 本間 武蔵 (東京都立神経病院) 渡辺 聡, 富田 絢子, 川島 紳 (ウォンツ)		
1518D	タブレット端末上でタッチタイピングを可能とする Home-Wing の提案と評価 見代 裕貴, 赤池 英夫, 角田 博保 (電気通信大学)	1537D	視覚障がい者向け商品情報提供システムの開発 - 立体音響を用いた商品位置情報呈示 - 久保田 敦大, 吉川 輝, 露崎 高広, 高尾 秀伸 (神奈川工科大学)		
1519D	腹部接触型の呼吸誘導装置の開発と子どもの呼吸法の学習への応用 浦谷 裕樹, 大須賀 美恵子 (大阪工業大学)	1538D	ジャグリングにおける 3 ボールカスケード訓練補助装置の開発 齋木 健二, 武藤 剛, 小宮山 祺 (青山学院大学)		

5日 対話発表・ポスター

多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール 2階 展示ホール		13:00 ~ 15:00 ※12:20 ~ 自由閲覧開始	
1539P	時間的切迫感が HELP 利用に与える影響 松尾 太加志 (北九州市立大学)	1559P	技術展示方法と研究者・技術者の閲覧行動の関係に関する研究 安藤 昌也 (千葉工業大学), 笠原 勉 (ビットマイスター)
1540P	中学校技術科向け教材の 3D プリンタによる製作とその評価 黒田 勉 (香川大学)		廣瀬 優平 (千葉大学)
1541P	パーソナル TV 動画再生 森田 勝, タネヴ・イヴァン, 下原 勝憲 (同志社大学)	1560P	エコドライブ支援システムにおける能動的工夫の余地が運転者の 動機づけに与える影響 野崎 敬太, 平岡 敏洋, 高田 翔太, 塩瀬 隆之, 川上 浩司 (京都大学)
1542P	白杖を用いたテクスチャー知覚における握り方の影響に関する 実験的検討 布川 清彦 (東京国際大学 / 産業技術総合研究所) 井野 秀一 (産業技術総合研究所) 土井 幸輝 (国立特別支援教育総合研究所)	1561P	人間中心設計 (HCD) 啓蒙活動のための HCD プロセスの理解: ISO9241-210 読書会の開催 佐々木 将之, 白澤 洋一, 吉岡 典子 (hcdvalue)
1543P	個人の嗜好に基づくランドマークを用いた観光ナビの提案 高木 修一, 益田 真輝, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)	1562P	自ら学習・訓練する大学教授のスピーチ評価システム 杉森 公一, 新井 浩, 川邊 弘之, 下村 有子, 瀬戸 就一 (金城大学)
1544P	製品開発における UCD の取り組み 繁延 大, 前田 哲哉 (京セラドキュメントソリューションズ)	1563P	TUI を用いたテーブルトップ型インターフェースによる学習支援 榎本 豊文, 見崎 大悟 (工学院大学)
1545P	外出中社員向け被災時行動教育システム 辻 康祐, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学) 田中 聡 (エヴァステージ), 矢津田 智子 (AIVIC)	1564P	ポインティングデバイスの操作軌跡を用いたデバイス判別 中村 裕介, 吉川 毅, 野中 秀俊 (北海道大学)
1546P	津波発生時に派遣医療チームを支援するための避難先推定シス テム 川邊 顕裕, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)	1565P	情報構造対応視線分析ツールを利用したウェブサイトのユーザ テスト方法 松延 拓生, 高島 実穂 (和歌山大学)
1547P	ロックダンス教育支援における重要動作の抽出と提示 - ストリートダンス未経験教師の支援 - 武居 拓郎, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)	1566P	視距離と年齢を考慮した文字の視認性に関する研究 田邊 友香, 小柳 三佳, 奥原 聰一 (オムロンヘルスケア) 岡嶋 克典 (横浜国立大学)
1548P	物語の創作・共有を通じて個性的観光を創出するシステムの提案 益田 真輝, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)	1567P	ユーザの分身としての仮想植物を介した人と人との“つながり” 形成支援システム 高石 萌美, イヴァン タネヴ, 下原 勝憲 (同志社大学)
1549P	感覚刺激のストレス軽減効果に関する実験的研究 - 組み合わせの違いと生理・心理的反応の違い - 三井 清美, 加賀美 悠子, 高野 研一 (慶應義塾大学)	1568P	工場用照明の LED 化に対する生産性・安全性に関する人間工学 的考察 三輪 高仁, 田中 大樹, 上田 茂夫, 池田 昌順 (IDEC)
1550P	KA 法とデザインパターンの応用の試み 和井田 理科, 堀内 正人, 福津 則昭 (JVC ケンウッド)	1569P	生体情報に基づく不快感の客観評価手法の提案 浅野 裕俊 (香川大学), 野澤 昭雄 (青山学院大学) 水野 統太 (電気通信大学), 中込 正樹, 井出 英人 (青山学院大学)
1551P	車椅子移乗時の転倒予防システム - 起立動作の早期検出手段の提案 - 泉 隆 (東海大学), 松下 英史, 杉原 俊一 (札幌秀友会病院) 田中 敏明 (東京大学)	1570P	HCD 啓蒙活動のための UX 概念の整理: UX 白書の翻訳 吉岡 典子, 白澤 洋一, 佐々木 将之 (hcdvalue)
1552P	刺激提示制御による眼球運動誘発特性の検証 寺内 宏樹, 蒲池 みゆき (工学院大学)	1571P	インタラクティブな LED 立体表示デバイスの研究と制作 光森 雅明, 鳥居 秀作 (岡山県立大学)
1553P	ユーザの嗜好に合わせたインタラクティブ Web ページ整形シス テム 廣野 青衣, タネヴ イヴァン, 下原 勝憲 (同志社大学)	1572P	携帯端末における表示領域を考慮した文字入力手法の検討 大西 克彦, 中野 裕史 (大阪電気通信大学)
1554P	船舶機関プラントにおけるコントロールコンソールのユーザビ リティに関する研究 有田 俊晃 (航海訓練所 / 神戸大学) 河本 健一郎 (川崎医療福祉大学) 広野 康平, 内田 誠, 古莊 雅生 (神戸大学)	1573P	キャンセル
1555P	高齢者・障がい者の為の排泄支援システムに関する研究 (第一報) 杉村 祐基, 松尾 悠矢, 山田 浩貴, 大澤 文明 (大同大学)		
1556P	視野狭窄者支援めがねの製作 下村 有子, 川邊 弘之, 杉森 公一 (金城大学) 南保 英孝 (金沢大学), 山田 省二 (北陸先端科学技術大学院大学) 松本 泰昭 (エコシスネットワーク), 深水 健太郎 (PROTEC)		
1557P	調理活動とレシピ利活用における認知特性の分析 - ICT による調理支援を目指して - 石本 真紀, 南部 美砂子 (公立はこだて未来大学)		
1558P	遠距離恋愛者の相互の恋愛行動へのアウェアネス支援 大廣 智也, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)		

5日(午後) 一般発表

5号館 1階 511	5号館 1階 512
112 レジリエンス 15:20 ~ 17:00 藤野 秀則 (西日本旅客鉄道)	122 医療・福祉 2 15:20 ~ 16:55 大倉 典子 (芝浦工業大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 1121L (15:20 ~ 15:45) レジリエンス指向型安全支援研究 (1) - 組織レジリエンスの評価と可視化 - 北村 正晴 (テムス研究所), 狩川 大輔 (電子航法研究所) 高橋 信 (東北大学), 石橋 明 (安全マネジメント研究所) • 1122L (15:45 ~ 16:10) レジリエンス指向型安全支援研究 (2) - CRM スキル定着のための「振り返り」支援方策 - 石橋 明 (安全マネジメント研究所), 竹内 直樹 (西日本旅客鉄道) 狩川 大輔 (電子航法研究所), 高橋 信 (東北大学) 北村 正晴 (テムス研究所) • 1123L (16:10 ~ 16:35) レジリエンス指向型安全支援研究 (3) - 航空路管制業務におけるトレードオフの可視化と分析 - 狩川 大輔, 青山 久枝 (電子航法研究所), 高橋 信 (東北大学) 石橋 明 (安全マネジメント研究所), 北村 正晴 (テムス研究所) • 1124L (16:35 ~ 17:00) レジリエンス指向型安全支援研究 (4) - 航空交通流制御の評価と改良に向けた検討 - 青山 久枝, 狩川 大輔 (電子航法研究所), 飯田 裕康 (労働科学研究所) 	<ul style="list-style-type: none"> • 1221L (15:20 ~ 15:45) 高齢者のトイレ支援システムのための体内水分量予測式の温度変化における妥当性評価 辻 愛里, 桑原 教彰, 森本 一成 (京都工芸繊維大学) • 1222L (15:45 ~ 16:10) 高齢者生活支援ロボットにおける周囲人物情報取得手法 山地 雄土, 山本 大介, 小林 優佳, 田崎 豪, 土井 美和子 (東芝) • 1223S (16:10 ~ 16:25) 手すりを移動するコミュニケーションロボット - 全体コンセプト - 廣井 富, 内田 裕二, 西村 駿宏, 中山 貴之, 黒田 尚孝 (大阪工業大学) 三宅 真司, 戸塚 典子, 伊藤 彰則 (東北大学) • 1224S (16:25 ~ 16:40) 屋外生活支援ロボットとしての誘導式ゴルフカートの安全エンジニアリング技術の開発 栗山 龍起 (IDEC), 猪井 博登, 石塚 裕子 (大阪大学), 土肥 正男 (IDEC) • 1225S (16:40 ~ 16:55) 電動車いすに係る製品事故情報へのテキストマイニング手法の適用 久本 誠一 (製品評価技術基盤機構 / 京都工芸繊維大学)

5号館2階 524	5号館2階 525
132 ユーザビリティ 2 15:20 ~ 16:55 黒須 正明 (放送大学)	142 コミュニケーション支援 1 15:20 ~ 17:00 藤田 欣也 (東京農工大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 1321L (15:20 ~ 15:45) システム開発プロセスにおける人間中心設計適用効果分析フレームワークの提案 谷川 由紀子, 河野 泉, 吉田 悠, 福住 伸一 (NEC) • 1322S (15:45 ~ 16:00) 家電製品の継続型ユーザビリティテスト用ロギングツールの開発 今村 隆雄, 渋沢 良太 (筑波大学) 葛岡 英明 (筑波大学 / RISTEX-JST), 山下 淳 (筑波大学) • 1323L (16:00 ~ 16:25) ユーザビリティ関連規格の現状と活用方法 福住 伸一, 谷川 由紀子, 池上 輝哉 (NEC) • 1324S (16:25 ~ 16:40) 意義展開ネットワークに基づくリンクアイコンの理解容易性に関する研究 梅景 晃平, 堀 雅洋 (関西大学) • 1325S (16:40 ~ 16:55) 口頭指示を伴う発話思考法による問題検出率に関する検討: 実務者と評価初心者の比較 吉澤 佑佑, 堀 雅洋 (関西大学) 日岡 勝秀, 増田 和也 (スロウハンドデザイン) 	<ul style="list-style-type: none"> • 1421L (15:20 ~ 15:45) ソーシャルメディアの情報信頼性評価に関する検討 飯塚 重善 (神奈川大学), 小松原 明哲 (早稲田大学) • 1422S (15:45 ~ 16:00) ゆるやかなコミュニケーションの高等教育の授業実践 伊藤 京子, 要 真理子, 久保田 テツ, 清水 良介 (大阪大学) • 1423S (16:00 ~ 16:15) 研究室におけるユーザの目的と習熟度に応じた蔵書推薦システム 牛尾 貴志, 村田 和義, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) • 1424S (16:15 ~ 16:30) 課題提出を支援する多機能リマインダの検討と試作 谷村 祐, 納富 一宏 (神奈川工科大学) • 1425S (16:30 ~ 16:45) 興味喚起度 MAP を利用した電子書籍小説「立ち読み」インタフェース 村井 聡一, 牛尾 剛聡 (九州大学) • 1426S (16:45 ~ 17:00) ポーカーメタファを利用したセレンディピティ指向推薦システムの提案 大西 翼, 奥 健太, 服部 文夫 (立命館大学)

6日(午前) 一般発表

5号館 1階 511	5号館 1階 512
211 感性・感覚・生理 1 9:30 ~ 10:45 萩原 啓 (立命館大学)	221 医療・福祉 3 9:30 ~ 11:25 井野 秀一 (産業技術総合研究所)
<ul style="list-style-type: none"> • 2111L キャンセル • 2112S (9:30 ~ 9:45) 3DTV 視聴時の感情状態と生理指標との対応に関する検討 阪本 清美, 浅原 重夫, 坂下 誠司 (パナソニック) 山下 久仁子, 岡田 明 (大阪市立大学) • 2113S (9:45 ~ 10:00) NIRS を用いた視覚刺激呈示時の快・不快情動の評価に関する研究 山本 修一, 柳沢 一機, 網島 均 (日本大学) • 2114S (10:00 ~ 10:15) 高臨場感映像体験時の生体情報計測 久保田 曜丞, 当麻 哲哉, 小木 哲朗 (慶應義塾大学) 近清 武, 新井 真由美, 池辺 靖, 松山 桃世 (日本科学未来館) • 2115S (10:15 ~ 10:30) 感性マルチメディアが体感温度に与える影響の検討 山本 修平, 伊藤 翔, 畠山 優香, 伴野 明 (東海大学) • 2116S (10:30 ~ 10:45) 正面顔判定と母音判定を用いた温度画像からの表情認識システム 浅田 太郎, 吉富 康成, 田伏 正佳 (京都府立大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 2211L (9:30 ~ 9:55) 協調フィルタリングと印象語を用いた認知機能向上のための楽曲推薦システムの開発 吉崎 早耶 (ワークスアプリケーションズ) 吉富 康成, 浅田 太郎 (京都府立大学) • 2212L (9:55 ~ 10:20) 高齢期における友人間の連絡頻度の低下要因 濱口 菜々, 朝井 大介, 浅野 陽子 (NTT) • 2213L (10:20 ~ 10:45) 写真画像と映像を用いた会話における負担感の比較 岩元 美由紀, 桑原 教彰, 森本 一成 (京都工芸繊維大学) • 2214S (10:45 ~ 11:00) 思い出を用いた認知症者と家族介護者間におけるコミュニケーション支援 山崎 和紘, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学) • 2215L (11:00 ~ 11:25) 視覚障害者の利用に配慮した多人数協調音楽インターフェース 岡田 遼太郎, 武田 拓也 (上智大学), 福島 裕介 (情報通信研究機構) 矢入 郁子 (上智大学)
昼休み 11:25 ~ 13:00	

5号館 2階 524	5号館 2階 525
231 インタフェースデザイン 1 9:30 ~ 11:25 安村 通晃 (慶應義塾大学)	241 コミュニケーション支援 2 9:30 ~ 11:20 山本 知仁 (金沢工業大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 2311L (9:30 ~ 9:55) 日常生活のエントロピー増大を伝える Ambient Computing の研究 川端 純世 (上智大学), 福島 裕介 (情報通信研究機構) 矢入 郁子 (上智大学) • 2312L (9:55 ~ 10:20) 機能群の句構造分析に基づくメニュー階層の設計 堀口 由貴男, 安 伸樹, 中西 弘明, 榎木 哲夫 (京都大学) • 2313S (10:20 ~ 10:35) 身体的プレゼンテーション支援のための身体動作引き出し手法 塚本 大, 中山 晃典, 山本 倫也 (関西学院大学) 渡辺 富夫 (岡山県立大学) • 2314L (10:35 ~ 11:00) インタフェース概念設計における思考地図の活用 小林 郁央, 田輪 恭久, 川上 修平, 後藤 仁美, 丸谷 久美子, 小松 慶充 安田 ナオミ, 玉井 ゆづき, 大草 真弓, 古高 光 (オーバルプラン) • 2315L (11:00 ~ 11:25) 放置物体の自動検出・警告による部屋の散らかり防止手法の提案 小濱 稔之, 山本 景子, 倉本 到, 辻野 嘉宏 (京都工芸繊維大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 2411L (9:30 ~ 9:55) WEB上で動作する“●”プロンプタを用いたコミュニケーションシステム - 親密度に基づいた複数ユーザ間コミュニケーションの特性分析 - 小駒 ちなみ, 米村 俊一, 徳永 幸生 (芝浦工業大学) 杉山 精 (東京工芸大学) • 2412S (9:55 ~ 10:10) 情報の割り込みが対人コミュニケーションに及ぼす影響に関する一検討 坂本 登, 高嶋 和毅, 横山 ひとみ, 北村 喜文 (東北大学) • 2413S (10:10 ~ 10:25) 音声駆動型身体的引き込み観客システムを用いた合意形成対話支援 野村 大和, 渡辺 富夫, 石井 裕 (岡山県立大学) • 2414S (10:25 ~ 10:40) チャット参加者の増減を考慮したタイピング駆動型身体的引き込みキャラクタチャットシステム 武村 匡崇, 渡辺 富夫, 石井 裕 (岡山県立大学) • 2415L (10:40 ~ 11:05) SHelective: 外部ディスプレイへの選択的なウィンドウ複製による情報共有 伏木 秀樹, 苗村 健 (東京大学) • 2416S (11:05 ~ 11:20) ぬいぐるみインタフェースを用いたデザイン開発 牧山 臨, 益岡 了, 東野 誠, 尾崎 洋 (岡山県立大学) 小森 久栄 (ビットクリエイツ), 川合 康央 (文教大学)
昼休み 11:25 ~ 13:00	

6日(午後) 一般発表

5号館 1階 511	5号館 1階 512
212 感性・感覚・生理 2 13:00 ~ 14:30 高嶋 和毅 (東北大学)	222 医療・福祉 4 13:00 ~ 14:30 岡本 明 (筑波技術大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・2121S (13:00 ~ 13:15) 認知干渉下における標的追従パフォーマンステストの生理的影響：fNIRS研究 岩崎 浩暁, 萩原 啓 (立命館大学) ・2122S (13:15 ~ 13:30) 振動刺激を用いた呼吸統制時の生理的变化の特徴抽出 井上 寛之, 萩原 啓 (立命館大学) ・2123S (13:30 ~ 13:45) 認知・判断タスクの難易度変化によるメンタルワークロードと生理変化の特徴比較 中嶋 恭兵, 萩原 啓 (立命館大学) ・2124S (13:45 ~ 14:00) 音楽との一体感の増強を目的とした呼吸誘導手法の開発と評価 富永 篤史, 大須賀 美恵子, 棒谷 英法 (大阪工業大学) 佐藤 尚, 守谷 健弘 (NTT) ・2125S (14:00 ~ 14:15) 脳波による指運動想起判別可能性 吉竹 一智, 唐山 英明 (富山県立大学) ・2126S (14:15 ~ 14:30) 小型 NIRS 用ブレイン・コンピュータ・インターフェースに関する研究 若井 翔平, 柳沢 一機, 網島 均 (日本大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2221S (13:00 ~ 13:15) 微細動作を着目したスキル分析と訓練支援 金平 蓮 (藤田保健衛生大学), 楊 衛平 (愛知淑徳大学) 藤本 英雄 (名古屋工業大学) ・2222S (13:15 ~ 13:30) 医療 X 線動画画像の定量的画質評価可能な試作ファントムによる視覚的特性の解析 佐藤 久弥 (昭和大学病院), 近藤 啓介 (駒澤大学), 中澤 靖夫 (昭和大学) ・2223S (13:30 ~ 13:45) 看護学生のカラーズに見る命のイメージ 古谷 スミ子 (大阪信愛女学院短期大学) ・2224S (13:45 ~ 14:00) 小児がん経験者のための教育ツールの開発と評価 南部 美砂子 (公立ほこだて未来大学), 原田 寛己 (シーエスアイ) 山口 (中上) 悦子 (大阪市立大学), 早川 晶 (神戸大学) 瓜生 英子 (国立国際医療研究センター) ・2225S (14:00 ~ 14:15) AR 骨格図鑑の学習教材に向けて 成 イ, 三島 美佐子, 竹田 仰 (九州大学) ・2226S (14:15 ~ 14:30) 乳児用小型圧力センサ駆動型丸棒状握力計測システム 山田 貴志 (香川大学), 渡辺 富夫 (岡山県立大学)
213 感性・感覚・生理 3 14:45 ~ 16:10 大須賀 美恵子 (大阪工業大学)	223 医療・福祉 5 14:45 ~ 16:05 長嶋 祐二 (工学院大学)
<ul style="list-style-type: none"> ・2131L (14:45 ~ 15:10) インタラクティブな画像群動的表示法における印象操作性の評価 佐藤 拓弥, 高嶋 和毅 (東北大学), 山口 徳郎 (沖電気工業) 北村 喜文 (東北大学) ・2132S (15:10 ~ 15:25) 空気触覚を用いた吸気誘導による嗅覚提示とその応用 勝山 一, 伴野 明 (東海大学) ・2133S (15:25 ~ 15:40) 香り映像一体表示広告の視線検出を用いた臨場感評価 伴野 啓介, 田中 真奈, 増田 智美, 山本 修平, 伴野 明 (東海大学) ・2134S (15:40 ~ 15:55) 製品の属性とユニークさに関する感性要素との関係 太田 裕介, 笠松 慶子 (首都大学東京) ・2135S (15:55 ~ 16:10) エンタテインメント用顔面風圧ディスプレイの活用について 張 帥, 山本 修平, 橋口 哲志, 上岡 玲子, 竹田 仰 (九州大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2231L (14:45 ~ 15:10) 上肢の認知神経リハビリテーション訓練を目的としたタブレット端末アプリケーションの開発 池本 祐樹, 小宮山 摂, 武藤 剛 (青山学院大学) ・2232S (15:10 ~ 15:25) Kinect を用いた歩容改善訓練装置の提案 高橋 悠人, 小宮山 摂, 武藤 剛 (青山学院大学) ・2233L (15:25 ~ 15:50) 精神的苦痛緩和に着目した義手デザイン 小北 麻記子 (北海道教育大学) ・2234S (15:50 ~ 16:05) 重度運動障害者のナースコールに関するアンケート調査 (2次調査報告) 玉木 克志 (アイホン), 小林 庸子 (国立精神・神経医療研究センター) 田中 勇次郎 (多摩療育園), 日向野 和夫 (川村義肢)

特別講演 (多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール)

16:30 ~ 18:00

「江口カン式コミュニケーションデザイン ～人は、何に喰いつくのか～」

イブニングセッション (石蔵酒造 博多百年蔵)

19:00 ~ 21:00

5号館 2階 524	5号館 2階 525
<p>232 インタフェースデザイン 2 13:00 ~ 14:25 鱗原 晴彦 (U'eyes Design)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2321S (13:00 ~ 13:15) フルカラー LED 照明における光色制御システムの試作と色光に対する人間の主観的評価 三木 光範, 奥西 亮賀 (同志社大学), 鈴木 真理子 (野村総合研究所) 吉見 真聡, 藤本 祥平, 佐藤 輝希 (同志社大学) • 2322S (13:15 ~ 13:30) 個別照度環境を実現する照明制御システムにおける照度実現可能範囲の可視化 三木 光範, 長光 翔一 (同志社大学) 伊藤 博高 (三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー) 吉見 真聡, 長野 正嗣, 善 裕樹 (同志社大学) • 2323S (13:30 ~ 13:45) 個別照明制御システムにおけるタブレット端末を用いた稼働状況可視化システム 三木 光範, 市野 博, 吉見 真聡 (同志社大学), 今宮 久夫 (TIS) 長野 正嗣 (同志社大学) • 2324L (13:45 ~ 14:10) 発表者の眩しさを軽減するプロジェクタ光調節システム 篠崎 健太, 中川 正樹 (東京農工大学) • 2325S (14:10 ~ 14:25) 色の持つ意味とカラーユニバーサルデザインの両立に関する検討 齋藤 晴美, 渡辺 昌洋, 浅野 陽子 (NTT) 	<p>242 身体的インタラクション 13:00 ~ 14:10 森川 治 (産業技術総合研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2421L (13:00 ~ 13:25) 影の二領域設計による生命的な身体表現メディア 林 成紘, 三輪 敬之, 内藤 剛, 板井 志郎 (早稲田大学) 西 洋子 (東洋英和女学院大学) • 2422S (13:25 ~ 13:40) ゆらぎに着目した行為の創出可能性に関する研究 - アバタの身体リズム操作におけるゆらぎの計測と二三の実験 - 安井 丈人, 板井 志郎, 三輪 敬之 (早稲田大学) • 2423S (13:40 ~ 13:55) 共創表現の遠隔支援 - 身体表現の共創における潜在的情報の計測と伝達 - 原 知也, 三輪 敬之, 宮本 旅人, 渡辺 貴文 (早稲田大学) 西 洋子 (東洋英和女学院大学) • 2424S (13:55 ~ 14:10) 霧を用いた表現メディア空間の設計と遊び場への活用 山口 慶二郎, 遠藤 祐二, 住友 翔, 三輪 敬之 (早稲田大学) • 2425S キャンセル
<p>233 電子書籍 14:45 ~ 16:05 亀山 研一 (東芝)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2331L (14:45 ~ 15:10) 議論をするための読みにおける紙とタブレット端末の比較 高野 健太郎 (富士ゼロックス / 電気通信大学) 柴田 博仁, 大村 賢悟 (富士ゼロックス) 市野 順子, 橋山 智訓, 田野 俊一 (電気通信大学) • 2332S (15:10 ~ 15:25) 音声認識を用いた幼児の言語獲得に資するデジタル絵本 川合 康央, 池辺 正典 (文教大学), 益岡 了 (岡山県立大学) • 2333S (15:25 ~ 15:40) タブレットデバイスと目の位置関係を考慮した電子書籍表示手法に関する検討 藤本 拓, 伊藤 雄一 (大阪大学), 石原 のぞみ (レノボ・ジャパン) 中島 康祐, 尾上 孝雄 (大阪大学) • 2334L (15:40 ~ 16:05) 実験用加速器を対象とした電子マニュアルの開発 芳賀 清憲, 高橋 信, 若林 利男, 松山 成男 (東北大学) 	<p>243 位置情報・行動支援 14:45 ~ 16:10 三輪 敬之 (早稲田大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2431L (14:45 ~ 15:10) 震災時の JR 大阪駅周辺における津波避難行動シミュレーションシステム 石田 涼, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学) • 2432S (15:10 ~ 15:25) 被災者心理を考慮した被災地のルート推薦システム 小野 一樹, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学) • 2433S (15:25 ~ 15:40) 位置認識システム部材用 RFID テキスタイルの開発 増田 敦士, 村上 哲彦 (福井県工業技術センター) 上岡 玲子 (九州大学), 廣瀬 通孝 (東京大学) • 2434S (15:40 ~ 15:55) GPS 位置情報送信デバイスを用いた位置把握支援環境の構築 小田桐 良一 (園田学園女子大学) • 2435S (15:55 ~ 16:10) ノンテリトリアルオフィスにおける座席自動決定方法の提案 三木 光範, 長谷川 翔太郎, 吉見 真聡 (同志社大学)

特別講演 (多次元デザイン実験棟 1階 実験ホール) 16:30 ~ 18:00
「江口カン式コミュニケーションデザイン ~人は、何に喰いつくのか~」

イブニングセッション (石蔵酒造 博多百年蔵) 19:00 ~ 21:00

7日(午前) 一般発表

5号館 1階 511	5号館 1階 512
<p>311 交通・運転者支援 1 9:30 ~ 11:25 大桑 政幸 (豊田中央研究所)</p>	<p>321 VR・AR・3D 9:30 ~ 11:25 小木 哲朗 (慶應義塾大学)</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 3111L (9:30 ~ 9:55) 運轉行動の一貫性：実車、シミュレータ、ドライビングゲームを用いた実験的検討 寺井 仁 (名古屋大学/JST CREST) 三輪 和久, 奥田 裕之, 田崎 勇一, 鈴木 達也 (名古屋大学) 小島 一晃 (早稲田大学), 森田 純哉 (北陸先端科学技術大学院大学) 前東 晃礼, 武田 一哉 (名古屋大学) • 3112L (9:55 ~ 10:20) 電動低床フルフラットバスの実用性検証・評価の研究 西山 敏樹, 石川 学, 清水 浩 (慶應義塾大学) • 3113L (10:20 ~ 10:45) 自動二輪車運轉時における眼球運動計測 水内 淳, 石井 雅己, 古木 翔, 山中 仁寛 (首都大学東京) 森島 圭祐, 大本 浩司 (ヤマハ発動機) • 3114L (10:45 ~ 11:10) タッチパッドを用いたステアリングリモコンの人間工学的評価 -操作領域の形状の検討- 吉田 佑介, 川田 歩, 高尾 秀伸 (神奈川工科大学) 大杉 淳 (パイオニア) • 3115S (11:10 ~ 11:25) ブレーキ開始位置呈示による列車運轉士の駅停止支援システムに関する研究 清水 勇介, 丸茂 喜高, 綱島 均 (日本大学) 小島 崇 (鉄道総合技術研究所) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3211L (9:30 ~ 9:55) 拡張現実感用トラッキングのための自然特徴点自動計測手法 河村 尚寛, 顧 穎成, 下田 宏, 石井 裕剛 (京都大学) • 3212L (9:55 ~ 10:20) 3D番組に使用が予想される映像効果に対する輻輳眼球運動の分析 佐野 啓介, 渋谷 優輝 (東海大学), 小玉 博也 (アストロデザイン) 山田 光穂 (東海大学) • 3213L (10:20 ~ 10:45) より自然な3D映像を用いた両眼視機能測定 石尾 広武 (福山市立大学) 上本 啓太, 塩見 友樹, 堀 弘樹, 宮尾 克 (名古屋大学) • 3214L (10:45 ~ 11:10) タブレット端末と据置型距離センサを用いたARインテリアデザインシステム 越智 惇也, 間下 以大, 清川 清, 竹村 治雄 (大阪大学) • 3215S (11:10 ~ 11:25) Microphone-Hear-Through ARシステムを拡張し環境音、環境情報をユーザに聴覚提示するシステム 根岸 秀一, 田野 俊一, 市野 順子, 橋山 智訓 (電気通信大学)
<p>昼休み 11:30 ~ 13:00</p>	

5号館 2階 524	5号館 2階 525
331 設計支援 9:30 ~ 11:05 山本 倫也 (関西学院大学)	341 入出力 9:30 ~ 11:30 古井 陽之助 (九州産業大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 3311L (9:30 ~ 9:55) HIパターンによる要求明確化手法の提案 - 要件定義段階への適用 大久保 亮介, 谷川 由紀子, 福住 伸一 (NEC) • 3312L (9:55 ~ 10:20) 顧客要求に適した配色設計を行うための画面配色パターン構築 矢野 有美, 大久保 亮介, 谷川 由紀子, 福住 伸一 (NEC) • 3313S (10:20 ~ 10:35) インタラクションデザインにおけるオープン化事例の検討 坂井 洋右 (山口情報芸術センター) • 3314S (10:35 ~ 10:50) AUI (Auditory user interface) による操作を実現するソフトウェア開発のためのガイドライン 諸熊 浩人 (U'eyes Design) • 3315S (10:50 ~ 11:05) 固定価格型 CO₂ 排出許容枠制度 (FIT-PCA) の提案とその社会的受容性の調査 北村 尊義, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3411L (9:30 ~ 9:55) 現実環境を想定したポインティングデバイスのパフォーマンス評価 市川 裕樹, 高橋 信 (東北大学) • 3412L (9:55 ~ 10:20) 手描きスケッチに対するコンピュータによる紙面上での処理 西村 光平, 金 ジョンヒョン, 橋田 朋子, 苗村 健 (東京大学) • 3413S (10:20 ~ 10:35) 晚餐メタファインタフェース: ナイフとフォークでの食事の所作に基づく操作体系の提案 箱田 博之 (筑波大学), 牛田 啓太 (群馬工業高等専門学校) • 3414S (10:35 ~ 10:50) フィジカルコントローラとタッチパネルを併用・連携させた操作インタフェースの提案 小森谷 大介 (筑波大学), 牛田 啓太 (群馬工業高等専門学校) • 3415L (10:50 ~ 11:15) PC操作における画面端のポインティング特性 桑原 諒圭, 志堂寺 和則 (九州大学) • 3416S (11:15 ~ 11:30) 流水を利用したインタラクションの提案と実装 小谷野 さとみ, 椎尾 一郎 (お茶の水女子大学)
昼休み 11:30 ~ 13:00	

7日(午後) 一般発表

5号館 1階 511	5号館 1階 512
312 交通・運転者支援 2 13:00 ~ 14:45 志堂寺 和則 (九州大学)	322 モバイル・ウェアラブル 13:00 ~ 14:45 福本 雅朗 (NTT ドコモ)
<ul style="list-style-type: none"> • 3121L (13:00 ~ 13:25) 高齢ドライバーの認知機能と先行車追従行動の経年変化 佐藤 稔久, 赤松 幹之 (産業技術総合研究所) • 3122L (13:25 ~ 13:50) 右折における同調的不安全運転とドライバの個人特性: 認知機能および性格特性から 永井 聖剛, 佐藤 稔久 (産業技術総合研究所) 河原 純一郎 (産業技術総合研究所 / 中京大学) 西崎 友規子, 平松 真知子, 寸田 剛司 (日産自動車) • 3123S (13:50 ~ 14:05) ドライバの社会的性に関する Character 自動推定 神沼 充伸 (日産自動車), 南角 吉彦, 李 晃伸 (名古屋工業大学) 西崎 友規子, プエ ステファン (日産自動車) • 3124S (14:05 ~ 14:20) ドライバの社会的スキル測定手法開発 西崎 友規子 (日産自動車), 谷田 林士 (大正大学), 山岸 俊男 (玉川大学) 神沼 充伸, プエ ステファン (日産自動車) • 3125L (14:20 ~ 14:45) ドライバの先行車接近の知覚メカニズムと知覚特性・ブレーキ操作特性 近藤 崇之 (東京工業大学) 古山 宣洋 (東京工業大学 / 国立情報学研究所) 廣瀬 敏也, 澤田 東一 (芝浦工業大学), 三宅 美博 (東京工業大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3221L (13:00 ~ 13:25) スマートフォン利用者のコンテキストログを用いたアプリケーション推薦システムの設計 嶋谷 健太郎, 間下 以大, 宮本 大樹, 岩田 麻佑, 原 隆浩, 清川 清 竹村 治雄, 西尾 章治郎 (大阪大学) • 3222S (13:25 ~ 13:40) 手袋型 RFID リーダーの開発 寛 瑞恵, 増田 敦士 (福井県工業技術センター) 志水 英二, 高橋 秀也 (大阪市立大学) 山本 明夫 (アートファイネックス) • 3223S (13:40 ~ 13:55) Dream Drill: 就寝による記憶定着効果を利用した学習アプリケーション 池田 彩 (お茶の水女子大学), 荒井 俊史 (シチズンホールディングス) 椎尾 一郎 (お茶の水女子大学) • 3224L (13:55 ~ 14:20) モバイル機器による Web 閲覧時の意図しないリンクのタップを防止する手法 川勝 光, 村田 和義, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) • 3225L (14:20 ~ 14:45) 街歩き中の思い出作りを支援する写真撮影促進システムの構築 小出 渉太, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学)
313 知覚・認知 15:00 ~ 16:20 徳永 幸生 (芝浦工業大学)	323 医療・福祉 6 15:00 ~ 16:30 猪木 誠二 (情報通信研究機構)
<ul style="list-style-type: none"> • 3131S (15:00 ~ 15:15) 頭部への圧迫感による情報提示デバイスの開発と評価 兼古 哲也, 棟方 渚, 小野 哲雄 (北海道大学) • 3132L (15:15 ~ 15:40) 眼球運動パラメータを用いた視野推定 石井 雅己, 水内 淳, 高嶺 恭平, 山中 仁寛 (首都大学東京) 森島 圭祐, 大本 浩司 (ヤマハ発動機) • 3133L (15:40 ~ 16:05) 日本語文法および漢字構造を考慮した視覚認知記憶課題の検討 五十嵐 敦志 (工学院大学), 薬田 明教, 川端 秀仁 (かわばた眼科) 長嶋 祐二 (工学院大学) • 3134S (16:05 ~ 16:20) 被写体の前後移動解釈と拡大縮小変化解釈の関係 森川 治 (産業技術総合研究所), 林 良子 (はまぎん こども宇宙科学館) 前迫 孝憲 (大阪大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3231L (15:00 ~ 15:25) 秋葉原駅前歩行実験による重度視覚障害者の心理・歩行特性分析 塩谷 駿介, 鈴木 秀孝, 岩澤 有祐, 矢入 郁子 (上智大学) • 3232L (15:25 ~ 15:50) iPad を用いた視覚障害者向け神経衰弱ゲームの実装と評価 浦島 卓也, 碓井 啓二郎 (上智大学), 福島 裕介 (情報通信研究機構) 矢入 郁子 (上智大学) • 3233L (15:50 ~ 16:15) タッチパネルを利用した視覚障害者向けインタラクティブ地図コンテンツ 大森 正太郎, 及川 辰幸 (上智大学), 福島 裕介 (情報通信研究機構) 矢入 郁子 (上智大学) • 3234S (16:15 ~ 16:30) 小型リハビリテーションシステムを用いた坂道軌跡の提示と評価 長洲 広海, 矢野 博明 (筑波大学) 田中 直樹, 斉藤 秀之 (筑波記念病院), 岩田 洋夫 (筑波大学)

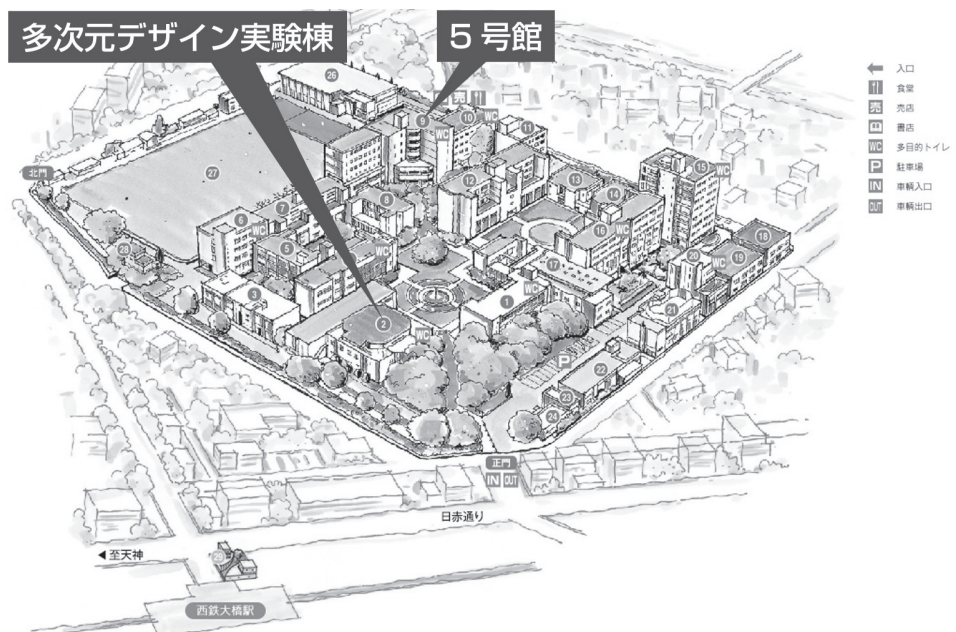
5号館 2階 524	5号館 2階 525
332 ユーザ行動・ユーザモデル 1 13:00 ~ 14:35 浅野 陽子 (NTT)	342 学習・教育支援 13:00 ~ 14:30 加藤 直樹 (東京学芸大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 3321S (13:00 ~ 13:15) ユーザの嗜好情報に合わせたモバイルツール連動型デジタルサイネージシステム 田中 穂識, 納富 一宏 (神奈川工科大学) • 3322L (13:15 ~ 13:40) 意識的な休息に着目した知的生産性変動モデルの提案と評価 宮城 和音, 河野 翔, 國政 秀太郎, 大石 晃太郎, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) • 3323S (13:40 ~ 13:55) 作業への集中に着目した知的生産性評価ツールの提案 大石 晃太郎, 宮城 和音, 國政 秀太郎, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) 大林 史明, 岩川 幹生, 斎藤 孝 (パナソニック) • 3324S (13:55 ~ 14:10) NIRSを用いた知的生産性評価タスク実施中の脳活動計測 國政 秀太郎, 宮城 和音, 大石 晃太郎, 下田 宏, 石井 裕剛 (京都大学) 大林 史明, 岩川 幹生, 斎藤 孝 (パナソニック) • 3325L (14:10 ~ 14:35) 場の拒否度と室員の割り込み拒否度の関連性の検討 青木 和昭, 佐藤 茂樹, 田中 貴紘, 藤田 欣也 (東京農工大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3421L (13:00 ~ 13:25) 書字における視線と手の相互作用の分析 - 視線を考慮した書字訓練装置開発に向けて - 武藤 ゆみ子, 三宅 美博 (東京工業大学) 小宮山 摂, 武藤 剛 (青山学院大学) • 3422S (13:25 ~ 13:40) 視線情報を用いた書字訓練装置の開発 尾林 祐太郎, 小宮山 摂 (青山学院大学) 武藤 ゆみ子 (東京工業大学), 武藤 剛 (青山学院大学) • 3423L (13:40 ~ 14:05) 三次元手形状の類似性を考慮した指文字練習システムのための正準角に基づく形状相関マップの検討 瀬戸山 浩平 (筑波技術大学), 高林 大輔 (筑波大学) 田中 陽土 (筑波技術大学), 大川 泰弘 (筑波大学) 加藤 伸子 (筑波技術大学), 福井 和広 (筑波大学) 岡崎 彰夫 (筑波技術大学) • 3424L (14:05 ~ 14:30) 漢字書字に困難を持つ児童に対する視覚的記憶に着目した漢字訓練手法の検討 高丸 公斗, 川口 利英, 縄手 雅彦 (島根大学)
333 ユーザ行動・ユーザモデル 2 15:00 ~ 16:35 土方 嘉徳 (大阪大学)	343 セキュリティ 15:00 ~ 16:25 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 3331L (15:00 ~ 15:25) 製品のデザインに関係づけられた乳幼児のよじ登り行動の計算モデル構築と分析 野守 耕爾 (産業技術総合研究所), 金 一雄 (サキコーポレーション) 西田 佳史 (産業技術総合研究所) • 3332L (15:25 ~ 15:50) 車いす利用者のためのバリアフリー情報自動識別の研究 - 各種機械学習法での比較 - 塩見 祐斗, 桑原 教彰, 森本 一成 (京都工芸繊維大学) • 3333S (15:50 ~ 16:05) 女子高校生の制服を対象とした「着くずしインタフェース」の分析 若林 里奈, 小川 克彦, 橋口 恭子 (慶應義塾大学) • 3334S (16:05 ~ 16:20) 機能スキーマ推定に基づくAV機器ヘルプシステムのインタラクション制御手法 井上 剛 (京都大学 / パナソニック), 小澤 順 (パナソニック) 堀口 由貴男, 中西 弘明, 榎木 哲夫 (京都大学) • 3335S (16:20 ~ 16:35) 知的作業者の気づきやすさと作業集中を並存させる視聴覚通知方法に関する基礎的検討 深澤 伸一, 金丸 利文, 野中 雅人 (沖電気工業) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3431S (15:00 ~ 15:15) スマートフォンにおける覗き見攻撃耐性を考慮した個人認証方式の提案 市村 亮太, 野口 敦弘, 納富 一宏 (神奈川工科大学) 斎藤 恵一 (国際医療福祉大学) • 3432S (15:15 ~ 15:30) スマートフォンにおけるゲーム操作時のキーストローク認証手法の基礎的検討 山田 健一郎, 野口 敦弘, 納富 一宏 (神奈川工科大学) 斎藤 恵一 (国際医療福祉大学) • 3433S (15:30 ~ 15:45) VDT作業時の手指形状を用いたバイOMETRICS認証手法 中村 孔明, 納富 一宏 (神奈川工科大学) 斎藤 恵一 (国際医療福祉大学) • 3434S (15:45 ~ 16:00) タッチスクリーンを用いたリズム認証手法 - 軌跡属性の追加による認証精度評価 - 野口 敦弘, 納富 一宏 (神奈川工科大学) 斎藤 恵一 (国際医療福祉大学) • 3435L (16:00 ~ 16:25) インタラクティブな大型公共ディスプレイでのプライベート情報提示手法 内藤 航, 郷 健太郎, 木下 雄一郎 (山梨大学) 飯塚 重善 (神奈川大学)



●会場までの交通



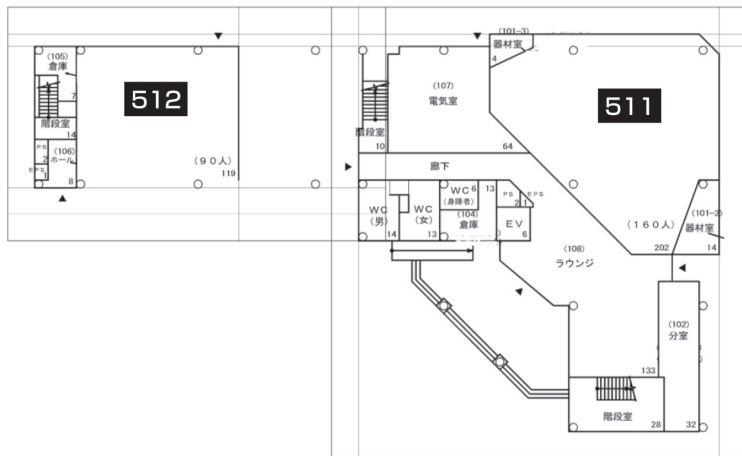
●施設案内図



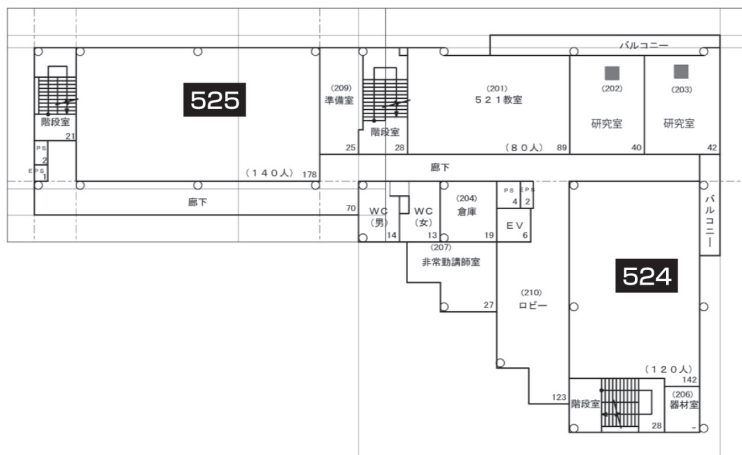


●会場図

5号館1階

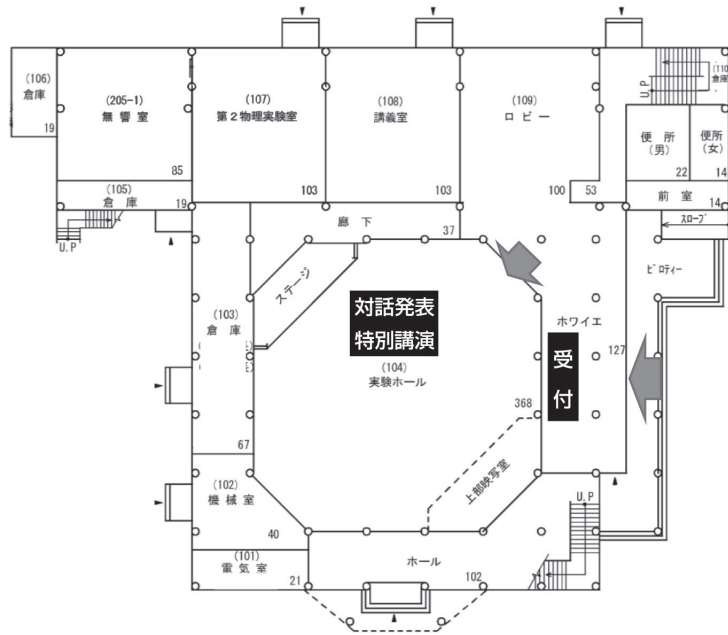


5号館2階

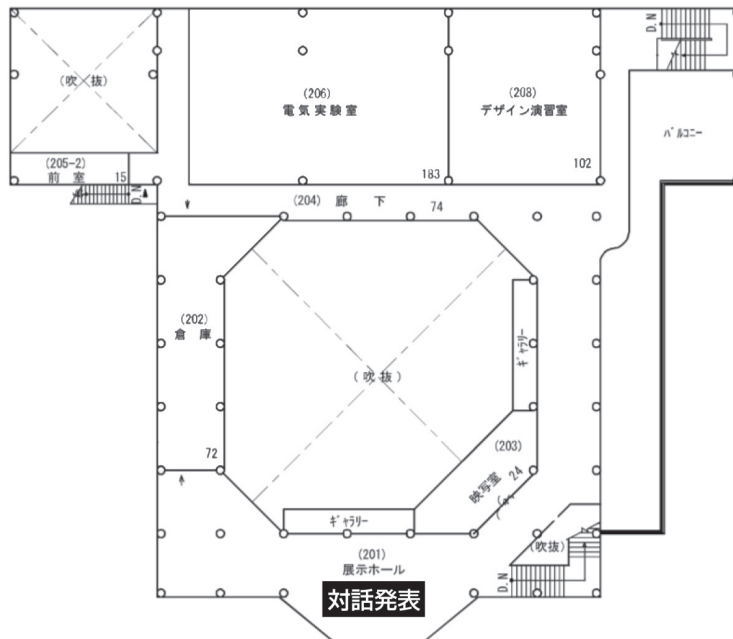




多次元デザイン実験棟 1階



多次元デザイン実験棟 2階





●参加費と参加申込

■参加費

	事前価格 (8/27(月)迄) (3) ※		当日価格 (8/28(火)以降) (3) ※		イブニングセッション
	《発表と聴講》	《聴講》	《発表と聴講》	《聴講》	
学会員 協賛会員	13,000- (1) (2)	13,000- (2)	15,000- (1) (2)	15,000- (2)	5,000-
非会員	19,000- (1) (2)	19,000- (2)	22,000- (1) (2)	22,000- (2)	5,000-
学生会員 協賛会員	13,000- (1) (2)	2,000- (2)	15,000- (1) (2)	2,000- (2)	5,000-
非会員学生	19,000- (1) (2)	7,000- (2)	22,000- (1) (2)	8,000- (2)	5,000-
資料のみ	-	8,000- (4)	-	8,000- (4)	-

(1) 複数発表の場合、件数分の参加費が必要です。

(2) 参加費には、講習会・ワークショップ・DVD論文集代金が含まれております。

(3) 事前価格は2012年8月27日(月)にお振り込み完了の方に限り適用となります。

※8/27午後3時以降のお振込みは翌8/28のお振込みとなりますのでご注意ください。

詳細は各金融機関へご確認ください。

(4) 後日送付の場合は別途送料が必要となります。

※九州大学在学の学生については、聴講のみ学生会員価格での参加が可能になります。

■申込方法

・ URL <https://www.his.gr.jp/sympo/his2012.html> からオンライン申込できます。

・ 参加申込書を下記の申込先へ FAX または郵送でお送り下さい。

■参加費の振込先

郵便振替：

口座番号：01080-1-14009

口座名：ヒューマンインタフェースシンポジウム

銀行振込：三菱東京UFJ銀行 西七条支店 普通預金

口座番号：3566234

口座名：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■お問合せ先

特定非営利活動法人

ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町93番地

京都リサーチパーク6号館304号室

TEL：075-315-8475 / 075-326-1331

FAX：075-326-1332

E-mail：his-symp@his.gr.jp

URL：https://www.his.gr.jp/sympo/his2012.html

Human Interface 2013 WASEDA

ヒューマンインタフェースシンポジウム
2013

開催予告

2013年9月10日(火)～13(金)

早稲田大学

●発表形式と内容

一般発表（発表15分＋討論）（予定）

新しい研究成果の報告や提案など。英語による発表も一般発表として受け付けます。

対話発表

実機や実演を取り込んだ対話形式による発表です。

参加者の投票によるプレゼンテーション賞の表彰を予定しております。

企業展示

ヒューマンインタフェース関連の製品や商品の紹介を歓迎します。

●発表申込

2013年6月6日(木)(予定)までにお申し込み下さい。

申込は申込書を事務局から取り寄せるか、学会ホームページ

(<http://www.his.gr.jp/>) をご覧下さい。

●問合せ先

特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93番地

京都市サーチパーク6号館304号室

TEL：075-315-8475 / 075-326-1331

FAX：075-326-1332

E-mail：his-symp@his.gr.jp

URL：http://www.his.gr.jp/